

## (1) 道産ワインの現状

○道内ワイナリー数の推移 **最近10年間で約3倍に増加**

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
ワイナリー数	16	18	20	23	25	29	33	35	37	41	47

※・1月末現在

・R2：ワイナリー（生産者）は47、国税局が免許交付先として把握している製造場は48。  
（2つの製造場を保有している生産者が1箇所ある。）

○道産ワインの評価

**海外のワインコンクールで受賞**

- ・世界最大の国際ワインコンテスト「Decanter World Wine Awards 2020」で金賞受賞（NIKI Hills）
- ・香港でのワインコンクールで金賞受賞（北海道ワイン（株））



## (2) 道産ワインの主な動き

○地理的表示（GI）「北海道」

- ・平成30年6月に山梨県に続いて全国で2番目のワイン（ブドウ酒）のGI指定
- ・これまでに9回の認定検査を実施。18者362銘柄を認定



○ブドウ品種「山幸」国際登録

- ・令和2年11月、十勝ワインが開発した醸造用ブドウの独自品種「山幸」が国際ブドウ・ワイン機構（OIV）に国内3品種目（道内初）で品種登録



○海外ワイナリー道内進出

- ・令和元年7月、フランスの老舗ワイナリーが函館市に進出。令和5年に初収穫、7年にワインを出荷する見込み



○北大に寄附講座を開設、ワイン研究センター設立検討

- ・令和3年4月から、北大大学院農学研究院にワインについて研究や講義を行う寄附講座を開設
- ・将来的にワイン産業振興と技術支援の拠点となる研究センターの設立目指す



## (3) 道の取組

○北海道ワインアカデミー

- ・現場第一線で活躍する方を対象に高度で専門性の高い人材を育成
- ・栽培・醸造、マーケティングに至る一貫した座学や実地研修を実施
- ・これまで121名修了、うち14名（10事業者）がワイナリー開設



○ワインプロモーション

- 道内の消費喚起
  - ・百貨店等と連携し、高付加価値市場を対象としたワインセミナーやフェアを実施  
〔連携先〕  
小売店：札幌丸井三越、コープさっぽろ、どさんこプラザ  
施設等：ウポポイ（白老町）
- ・道内における道産ワインの普及促進と消費拡大を目的に地域セミナーを実施  
〔対象者〕  
飲食店、酒販店、ホテル関係者など
- 首都圏でのプロモーション
  - ・高級飲食店等と連携し、高付加価値市場を対象としたワインセミナーやフェアを実施  
〔連携先〕  
小売店：ディーン&デルーカ、明治屋、高島屋、阪急百貨店  
飲食店：Wakiya一笑美茶樓



○ワイン産地連携促進

- ・科学的根拠に基づく高品質ワインの製造技術の向上を図るため、関係機関が連携し、取り組む
- ・高品質ワイン製造に資するデータベースの構築（土壌データ、気象データ、果汁データなど）
- ・生産者へのフィードバック
- ・プラットフォームの形成に向けた検討

